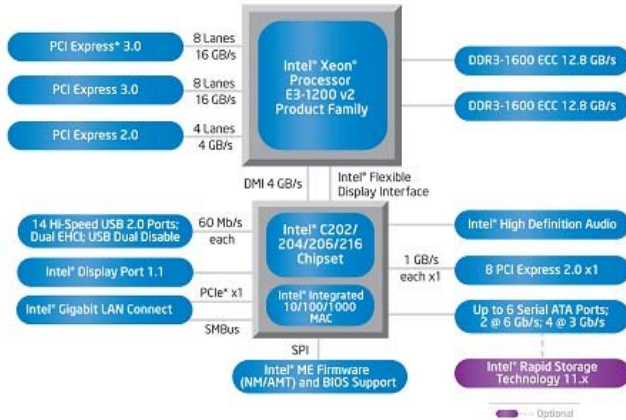




インテル® C202、C204、C206、C216 チップセット

中小規模ビジネス向けに設計されたインテル® C202、C204、C206、C216 チップセットは、シングルソケット・サーバー・プラットフォームやエントリーレベル・ワークステーションでインテル® Xeon® プロセッサ E3-1200v2 およびインテル® Xeon® プロセッサ E3-1200 製品ファミリーをサポートします。これらのチップセットは、かつてないコスト効果の高いデータ保護やパフォーマンス、強化されたセキュリティ、仮想化、電源管理オプションを通じて、優れた信頼性と生産性をもたらします。



Features may vary depending on processor and chipset SKUs.

製品情報

[インテル® Xeon® プロセッサ E3 ファミリー製品概要](#)

[インテル® C216 チップセットの仕様](#)

[インテル® C206 チップセットの仕様](#)

[インテル® C204 チップセットの仕様](#)

[インテル® C202 チップセットの仕様](#)

[製品サポートページの表示](#)

関連製品

プロセッサ	インテル® Xeon® プロセッサ E3-1200 v2 製品ファミリー
	インテル® Xeon® プロセッサ E3-1200 製品ファミリー

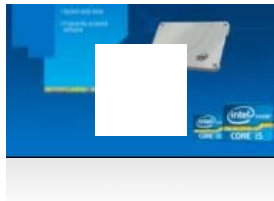
インテル® Xeon® プロセッサ E3-1200 v2 製品ファミリー 概要

機能	利点
インテル® Xeon® プロセッサ E3-1200 v2 製品ファミリー	サーバークラスのパフォーマンス、信頼性、セキュリティをエントリーレベルの価格帯で提供。前世代のインテル® Xeon® プロセッサ搭載サーバーに比べて最大 13% パフォーマンスが向上しています。 ¹
インテル® マイクロアーキテクチャ	パフォーマンスと電力効率が向上。 業界最先端のインテル® シリコン・テクノロジー (22nm Hi-k プロセス・テクノロジー)。 インテル® スマート・キャッシュ・テクノロジー、最大 8 MB のラストレベル・キャッシュ搭載。
優れた信頼性とセキュリティでビジネスを守る	
ECC メモリーをサポート	自動データ訂正機能により、データの完全性やシステムの信頼性が向上。 メモリーエラーの最大 99.988% を検出・訂正できます。
電子メールアラート機能を備えたインテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー (インテル® RST)	ハードドライブに障害が発生しても継続稼動と素早いデータ復元が可能。 複数ハードドライブでのデータ・ストライピングにより、システムのパフォーマンスが高速化されます。
インテル® OS ガード	マルウェア対策の強化により、セキュリティが向上。 サーバーのオペレーティング・システムをハードウェア・ベースで保護します。
インテル® セキュアキー	幅広いセキュリティ・アプリケーションでセキュリティとパフォーマンスが向上。 高速で高品質な暗号化キーと認証を提供します。
インテル® AES New Instructions ₂ (インテル® AES-NI)	データを暗号化しても応答性の低下がなく、セキュリティが向上。 データの暗号化/復号処理を最大 58% 高速化します。 ³
インテル® トラストド・エグゼキューション・テクノロジー ₄ (インテル® TXT)	さまざまなデジタル脅威に対するセキュリティを強化して、ビジネスを守ります。 システムを「既知の良好な状態」で起動することができます。
サーバー OS での動作検証	最先端ビジネス・アプリケーションへの対応と信頼性が向上。 各種サーバー OS でテスト・検証を行っています。
応答性に優れたパフォーマンスでビジネスの成長に貢献	
インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0 ₅	最も必要な場面でより高いパフォーマンスを提供。 ピーク負荷時にプロセッサやグラフィックスのパフォーマンスを加速します。
インテル® ハイパースレッディング・テクノロジー ₆ (インテル® HT テク	要求の厳しいビジネス・アプリケーションの同時実行で優れたパフォーマンスを提供。

ノロジー)	スレッドレベルの並列処理を実現し、マルチスレッド・アプリケーションや複数アプリケーションの同時実行で威力を発揮します。
PCI Express* 3.0 ポート	ストレージやネットワークへの接続に抜群の性能と柔軟性をもたらします。前世代の PCIe 2.0 に比べて最大 2 倍の I/O 帯域幅を提供。
SATA* 3.0	データアクセス、システムの起動、アプリケーションの読み込みを高速化。前世代に比べてデータ・スループットが 2 倍に向上しているため、ハードドライブのパフォーマンスが高速化されます。
ダイレクト I/O 向けインテル® バーチャライゼーション・テクノロジー (インテル® VT-d)	仮想化環境で高速なネットワーク/ストレージ通信を実現。ネイティブに近い I/O パフォーマンスを実現し、セキュリティと信頼性が向上します。
TCO の削減と価値の向上	
低電力 CPU のオプション	パフォーマンスと電力効率のバランスをとり、トータルな価値を最大化します。87W、77W、69W、45W、17W のプロセッサ SKU から選択できます。
インテル® ノード・マネージャー	個々のサーバーの電力と熱を監視し、ポリシーベースのパワー・マネジメントを提供します。
インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー (インテル® AMT)	柔軟性の高いローカルおよびリモート管理機能により、シンプルなメンテナンスと信頼性に優れた運用環境を実現。電源障害時や OS がクラッシュしていても、安全なアウトオブバンド・アクセスを提供します。

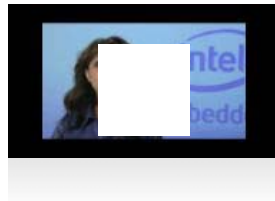
追加情報: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7

ビデオ



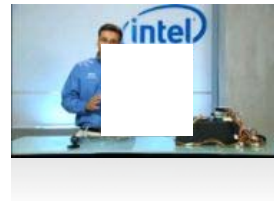
Intel Smart Response Technology and Intel SSDs: an Overview

Learn how Intel® SSD 311 Series and Intel® Z68 Chipset together drastically improve system responsiveness. (1:34)



Intel® Atom™ Processor N2000/D2000: Platform Overview

Platform overview covers new Intel® Atom™ processor with Intel® NM10 Express Chipset features.



2nd Generation Intel® Core™ Platform: Overview

Overview: Highlights the benefits and enhancements of the platform. (v.001, May 2011)

関連資料

- 関連情報
- 関連トピック
- 関連製品

インテル® E7505 チップセット

インテル® E7505 チップセットはワークステーションおよびサーバー向けに最新のテクノロジーを提供します。

インテル® 3000 チップセット / ...

インテル® 3000 チップセットおよびインテル® 3010 チップセットの概要の詳細を読む

インテル 3200 チップセット / 3210...

インテル® Xeon® プロセッサ 3000 系と組み合わせ、1-way サーバー・プラットフォームの LGA775 パッケージに装着して使うことを想定して設計されています。

5500 チップセット / インテル 5520...

インテル® 5500 シリーズ・チップセットおよびインテル® 5520 シリーズ・チップセットは、インテル® Xeon® プロセッサ 5500 番台に対応しています。

Intel Sponsors of...

個人ユーザー向けテクノ Smart TV



インテル® Core™ i7 プロセッサ

第3世代インテル® Core™ i7 プロセッサは、HD や 3D、マルチタスク、マルチメディアに対応し、作業



インテル® Core™ i5 プロセッサ

インテル® Core™ i5 プロセッサは、必要に応じて自動的に動作周波数を引き上げ、スマートなパフォーマンス



インテル® Core™ i3 プロセッサ

インテルの最新プロセッサファミリーのエントリーモデルである第3世代インテル® Core™ i3 プロセ

免責事項

1. 出典: SPECint*_rate_base2006、SPECfp*_rate_base2006、STREAM*、Linpack* ベンチマークの結果の幾何平均に基づく、前世代のプロセッサとのパフォーマンスの比較。SPECint*_rate_base2006 v1.2 ic12.1.09oct2011 on Linux x86_64 での比較ベースラインとベンチマークのスコア: 1 基のインテル® Xeon® プロセッサ E3-1280 (8M キャッシュ、3.50 GHz、D2 ステッピング)、拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー 有効、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 有効、インテル® ハイバースレディング・テクノロジー 有効、16GB メモリー (2x 8GB DDR3-1333 ECC UDIMM)、160GB SATA 7200RPM HDD、Red Hat* Enterprise Linux* Server 6.2、カーネル 2.6.32-220.el6.x86_64 を搭載したインテル® C206 チップセットベースのクアッドコア・プラットフォーム。コンパイラ: パージョン: インテル® C++ Studio XE およびインテル® Fortran の 12.1.0.225。出典: 2012年2月に実施したインテル社内でのテスト。スコア: SPECint*_rate_base2006=172、SPECfp*_rate_base2006=118。新しい構成とベンチマークのスコア: 1 基のインテル® Xeon® プロセッサ E3-1280v2 (8M キャッシュ、3.60 GHz、E0 ステッピング)、拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー 有効、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 有効、インテル® ハイバースレディング・テクノロジー 有効、16GB メモリー (2x 8GB DDR3-1600 ECC UDIMM)、160GB SATA 7200RPM HDD、Red Hat* Enterprise Linux* Server 6.2、カーネル 2.6.32-220.el6.x86_64 を搭載したインテル® C206 チップセットベースのクアッドコア・プラットフォーム。コンパイラ: パージョン: インテル® C++ Studio XE およびインテル® Fortran の 12.1.0.225。出典: 2012年2月に実施したインテル社内でのテスト。スコア: SPECint*_rate_base2006=190、SPECfp*_rate_base2006=135。Stream_omp v5.4 at N=80,000,000 on Linux x86_64 での比較ベースラインとベンチマークのスコア: インテル® C206 チップセット、1 基のインテル® Xeon® プロセッサ E3-1280v2 (クアッドコア、3.60GHz、8MB L3 キャッシュ、E0 ステッピング)、拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー 有効、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 有効、インテル® ハイバースレディング・テクノロジー 有効、16GB メモリー (2x 8GB DDR3-1600 アンバップアード ECC)、160GB SATA 7200RPM HDD、Red Hat* Enterprise Linux* Server 6.2、2.6.32-220.el6.x86_64 カーネル。出典: 2012年2月に実施したインテル社内でのテスト。Triad のスコア: 18,629 MB/s。新しい構成とベンチマークのスコア: インテル® C206 チップセット、1 基のインテル® Xeon® プロセッサ E3-1280v2 (クアッドコア、3.60GHz、8MB L3 キャッシュ、E0 ステッピング)、拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー 有効、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 有効、インテル® ハイバースレディング・テクノロジー 有効、16GB メモリー (2x 8GB DDR3-1600 アンバップアード ECC)、160GB SATA 7200RPM HDD、Red Hat* Enterprise Linux* Server 6.2、2.6.32-220.el6.x86_64 カーネル。出典: 2012年2月に実施したインテル社内でのテスト。Triad のスコア: 22,531 MB/s。インテルが最適化した SMP LINPACK 10.3.4 on Linux x86_64 での比較ベースライン構成とベンチマークのスコア: インテル® C206 チップセット、1 基のインテル® Xeon® プロセッサ E3-1280 (クアッドコア、3.50GHz、8MB L3 キャッシュ)、拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー 有効、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 有効、インテル® ハイバースレディング・テクノロジー 有効、8GB メモリー (2x 4GB DDR3-1333 アンバップアード ECC)、160GB SATA 7200RPM HDD、Red Hat* Enterprise Linux* Server 5.5 for x86_64、カーネル 2.6.35.10。出典: 2010年12月に実施したインテル社内でのテスト。スコア: 99.61 GFlops。新しい構成とベンチマークのスコア: インテル® C206 チップセット、1 基のインテル® Xeon® プロセッサ E3-1280v2 (クアッドコア、3.60GHz、8MB L3 キャッシュ、E0 ステッピング)、拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー 有効、インテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 有効、インテル® ハイバースレディング・テクノロジー 有効、16GB メモリー (2x 8GB DDR3-1600 アンバップアード ECC)、160GB SATA 7200RPM HDD、Red Hat* Enterprise Linux* Server 6.2、2.6.32-220.el6.x86_64 カーネル。出典: 2012年2月に実施したインテル社内でのテスト。スコア: 107.38 GFlops。

2. インテル® AES New Instructions (インテル® AES-NI) を利用するには、インテル® AES-NI に対応したプロセッサを搭載したコンピューター・システム、および命令を正しい手順で実行する他社製ソフトウェアが必要です。インテル® AES-NI は、インテル® Core™ i5-600 デスクトップ・プロセッサ・シリーズ、インテル® Core™ i7-600 モバイル・プロセッサ・シリーズ、インテル® Core™ i5-500 モバイル・プロセッサ・シリーズで利用できます。提供状況については、各 PC メーカーなどにお問い合わせください。詳細については、<http://software.intel.com/en-us/articles/intel-advanced-encryption-standard-instructions-aes-ni> (英語) を参照してください。

3. 出典: 32 GB SSD を暗号化する際のパフォーマンスの比較。前世代のインテル® Xeon® プロセッサ X3480 (クアッドコア、3.06 GHz、8 MB L3 キャッシュ) を搭載したプラットフォームでのベースラインとなるスコア 14 分 57 秒と、インテル® Xeon® プロセッサ E5-1280 (クアッドコア、3.50 GHz、8 MB L3 キャッシュ) を搭載したプラットフォームでの新しいスコア 9 分 24.67 秒は、2011年1月現在の最良の公表値に基づいています。詳細については、<http://www.intel.co.jp/performance/> を参照してください。

4. すべての条件下で絶対的なセキュリティーを提供できるコンピューター・システムはありません。PC を保護するインテル® トラストッド・エグゼキューション・テクノロジー (インテル® TXT) を利用するには、インテル® パーチャライゼーション・テクノロジーとインテル® TXT 対応のチップセット、BIOS、Authenticated Code Modules を搭載し、インテル® TXT 対応 measured launched environment (MLE) したコンピューター・システムが必要です。さらに、インテル® トラストッド・エグゼキューション・テクノロジーを利用するには、システムが TPM v1.2 を搭載している必要があります。詳細については、<http://www.intel.co.jp/content/www/jp/ja/data-security/security-overview-general-technology.html> を参照してください。加えて、製造元企業 (OEM) が TPM 機能を提供している必要があり、同機能に対応する BIOS が必要になります。TPM 機能は初期化する必要があり、すべての国で提供されているとは限りません。

5. インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーに対応したシステムが必要です。インテル® ターボ・ブースト・テクノロジーおよびインテル® ターボ・ブースト・テクノロジー 2.0 は、一部のインテル® プロセッサでのみ利用可能です。各 PC メーカーにお問い合わせください。実際の性能はハードウェア、ソフトウェア、システム構成によって異なります。詳細については、<http://www.intel.co.jp/content/www/jp/ja/architecture-and-technology/turbo-boost/turbo-boost-technology.html> を参照してください。

6. インテル® ハイバースレディング・テクノロジーに対応したシステムが必要です。詳細については、各システムメーカーにお問い合わせください。性能は、使用するハードウェアやソフトウェアによって異なります。すべてのインテル® プロセッサで利用できるわけではありません。詳細については、<http://www.intel.co.jp/content/www/jp/ja/architecture-and-technology/hyper-threading/hyper-threading-technology.html> を参照してください。

7. インテル® アクティブ・マネジメント・テクノロジー (インテル® AMT) によって可能となるセキュリティー機能は、インテル® AMT に対応したチップセット、ネットワーク・ハードウェア、ソフトウェア、および企業 LAN へ接続されている必要があります。ホスト OS ベースの VPN 上や、ワイヤレス接続時、バッテリー駆動時、スリープ時、ハイバネーション時、電源切断時には、インテル® AMT を利用できないことや、一部の機能が制限されることがあります。セットアップには構成が必要となり、管理コンソールへのスクリプトや既存のセキュリティー・フレームワークへの統合、新しいビジネスプロセスの変更や導入を必要とする場合もあります。詳細については、<http://www.intel.com/content/www/us/en/architecture-and-technology/intel-active-management-technology.html> (英語) を参照してください。